

嘉川自治連合会(嘉川地域づくり協議会)

★活動の概要

嘉川地域では5つの部会を設けて、部会ごとに地域づくりに取り組んでいます。
このうち4事業を紹介します。

★交付金額

11, 418, 517 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	6, 938人
世帯数	2, 806 世帯
地域の キャッチフレーズ	調和のとれた地域の発展と 安心・安全な住みよい嘉川

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備

平成22年度から実施してきました地域内の遺跡・史跡の発掘整備も4年を経過して、後世に伝える資料作成、標柱や表示板の設置を地域内住民の協力で行うことができました。

今年度はそれらを1枚のマップにまとめ、巡ることができるように、ルートを記載した

「嘉川遺跡史跡ルートマップ」が完成しました。

子ども達をはじめ地域の方々が身近な遺跡、史跡に触れる機会を得て、往時の人の営みから「点」を知り、「線」を悟り「面」につながる、嘉川の歴史を感じる資料を作ることができました。(社会部会)



■ あいさつ運動の推進

平成24年度に実施したアンケート結果を踏まえ、地域全域にあいさつ運動が浸透するように「あいさつ運動推進地域」の幟を作成しました。

幟のデザインはとても目につきやすいものを選び、自治会集会所、小中学校、JR 駅等、地域内の多くの人々が利用する施設に設置し、「あいさつ運動」を地域住民にアピールすることができました。

この活動により、自分から積極的に挨拶する人が増加したように思います。

(社会部会)



今後の地域づくりに向けて

5年計画で26の事業を実施しながら4年次を終えました。役員が中心となり実施した事業や、有志の委員会で進めた事業等、手法は様々ですが、いずれも地域住民の方々の意欲的な取り組み無くして遂行はできません。

今後も自治会をはじめ、ボランティア組織(団体)の協力を結集した協働体制づくりを進めていきたいと考えます。

■ 地域産品・交流創出事業



「嘉川でできた米を使って、オリジナルのお酒を造る。」ことを目指し、地域の大人も子どもも一緒になって酒米の田植えから稲刈りまで行いました。

本年度で4年目を迎え、地域産品として創出した酒「嘉穂の郷」も次第に地域に浸透しつつあり、一連の行事も地域住民の交流の場となる恒例のイベントとして定着してきました。



古くから栄えた酒造りの風土とその地域産品が後々まで継続するようイベント等を通じて盛り上げていきたいと思えます。

また、山口南部地域の交流増進にも繋げていきたいと考えています。(自治部会)



■ 地域防災活動

地域防災力の向上(自主防災組織の育成)を目指し、地域防災の進め方・考え方をテーマに講演や地図を使った演習(ワークショップ)を行う研修会を2回シリーズで開催しました。

研修会には自治会長、婦人会員など多数の参加があり、地域防災に対する学習が進みました。



また、自助の観点から、地域住民から参加者を募り、災害の疑似体験ができる「福岡市民防災センター」を視察しました。

参加者からは、日頃から災害について考え、身を守ることの重要性を再認識する契機になったとの声も多く、とても有意義な研修となりました。



今後も災害時における自助のための備え、知識をまず各人がしっかり身に付け、そのうえで自主防災組織によって互いに助け合う共助もできる地域づくりを目指し、研修等を積み重ねるとともに資機材の整備等と合わせ、地域住民の防災意識向上のため、嘉川地域の防災活動を推進します。(自治部会)

海拔表示板も
作成しました



佐山地区地域づくり協議会

★活動の概要

佐山地区内の各種団体が連携して地域課題を解決するとともに、活動を通じたコミュニティ意識の高揚、地域の活性化に寄与することを目的とした活動を展開しています。

★交付金額

8,798,717 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2,779人
世帯数	1,029 世帯
地域の キャッチフレーズ	住みよい佐山の まちづくり

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 佐山案内書作成事業

佐山地域には、これまで、自主防災会などの視察研修の受け入れ時や、地域外で開催されるイベントなどで、佐山地域を紹介するためのパンフレットがありませんでした。

そこで、地域づくり協議会の総務部会が中心となり、楽しく分かりやすく佐山地域を紹介した佐山地域の案内書を作成することになりました。

完成した案内書は、地域で歌い継がれる「わがまちさやま」の歌詞をイメージで作成しており、地域内の名所などを地図と写真で紹介しています。

また、地図内に、災害時の避難所と主要施設の海拔を表示することにより、防災マップとしての役割を併せもっています。

作成した案内書は、佐山地区内に全戸配布するとともに、各種イベントや佐山地域内の主施設での配布、また、佐山小学校の社会科の教材として広く利用する予定です。



●目を引くデザインです

■ 国道190号線沿い花壇整備事業

花壇の管理を行うボランティア団体「フラワーロード佐山」を立ち上げて2年目を迎えました。

ボランティアスタッフの献身的な管理のおかげ

により、年間を通じて、美しい花が咲き誇っています。

昨年秋からは、国道沿いの反対車線側の花壇も整備し、ますます見ごたえ十分の花壇となりました。

それに伴い、新規のボランティアスタッフの募集を行ったところ、先輩ボランティアスタッフの熱心な呼びかけもあり、約20名の方の登録がありました。

今後も、道行く人々の目を楽しませることができるよう、また、佐山地区の新名所となれるように、今まで以上の積極的な活動を展開します。



■ 自主防災会組織基盤強化事業

いまや佐山地域の代名詞のひとつとも言える自主防災活動ですが、活動内容は、地域全体の動きから、単位自治会によるコンパクトで、より実践的な動きが加わってきました。

今年度は、平成24年度に制定した各単位自治会の防災リーダー、サブリーダーが中心となり、それぞれの単位自治会の地域性を視野に入れた訓練に取り組みました

平成24年12月に由良、須川後地区合同で実

施された避難訓練は、山口大学で開発研究が進められている無線LANシステムを活用した実地訓練となり、テレビ報道でも取り上げられました。

また、昨年より実施している、防災への関心が薄い子ども達の意識向上を図るため、佐山小学校で4年生を対象に防災学習を実施しました。



●子ども達の日も真剣です

地域内での防災意識は高まっているものの、参加者は限られており、また地域内でも取り組みに格差があります。今後も、より多くの地域住民に防災活動へ興味を持っていただけるように、また、地域全体が高い水準での防災意識が持てるよう、さまざまな普及活動を展開します。

■ 佐山地区ふるさとまつり助成事業

佐山地区ふるさとまつりは、今年で36回目を迎える、佐山地域最大のイベントです

まつりは、実行委員会が主体となり開催していますが、地域づくり協議会も、まつりを盛り上げるために、企画段階から積極的に関与し、取り組みを行いました。



当日は、あいにくの雨になりましたが、新企画の「食の発掘佐山発C級グルメ」など、楽しいイベントを開催し、多いに盛り上がりました。

また、会場には、山口南部振興局が企画した「ヤマグチナンブ9」のスタンプラリーのスタンプポイントが設置されましたが、佐山地域では、スタンプラリーをさらに盛り上げるため、割引券の付いた独自のチラシを作成、配布しました。

スタンプラリーとチラシの相乗効果により、たくさんの方に佐山地区を訪れていただきました。



■ サンパーク買物便運行事業

地域内には、食料品や生活用品を扱う店舗が少ないため、地域づくり協議会でタクシーを貸し切り、最寄りの大型店舗（サンパークあじす）まで運行を行う事業を実施しました。

事業実施により、地域内のお年寄りなど、交通弱者の交通手段が確保できたと同時に、買物運行便は、地域内で運行しているコミュニティタクシーと連動していることから、相互の利用促進に繋がる相乗効果をもたらしました。

● 今後の地域づくり協議会の活動について

これまで、佐山地区地域づくり協議会では、地域の声や要望をベースにさまざまな事業を展開してきました。

今後は、平成26年度から5カ年を計画期間とした、「地域づくり計画」に基づいて、これまでの活動を踏襲しながら、関係団体等と連携を図り、地域のニーズに応える事業を展開していきます。



★活動の概要

設立から丸4年、「地域づくり計画」に沿って、地域のニーズや課題解決に取り組みました。住民自身が住んでいる地域に誇りが持てるよう、自らが住みよいまちづくりを目指し活動しました。

★交付金額

15,026,000円



★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	24,689人
世帯数	10,822 世帯
地域の キャッチフレーズ	みんなが 笑顔で暮らせるまち

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 地域振興

- ・地域づくりシンポジウム
- ・ゆるキャラ着ぐるみ作成
- ・おごおり写真フォーラム
- ・SLやまぐち号おもてなし
- ・世代交流ボウリング大会
- ・オゴオリザクラ保護・育成 ほか
- ・おごおり語り部講座
- ・カローリング
- ・PTAとの連携事業
- ・情報誌発行



地域づくりシンポジウムで、パネルディスカッション



おごりんがSLやまぐち号のおもてなし(新山口駅)

■ 地域福祉

- ・高齢者の生きがいづくりリーフレット作成
- ・あいさつ運動
- ・ウォーキング大会
- ・子育て支援講座
- ・こころの健康講座 ほか



←こころの健康講座



↑子育て支援
「ママべびいケア」



←「おごりんピック」後のランチ



↑オゴオリザクラの接ぎ木



山口市天然記念物オゴオリザクラ

■ 安心安全

- ・防災講演会 ・海拔表示 ・防犯講座
- ・交通安全啓発看板 ・カーブミラーの設置
- ・夜警支援 ・先進地視察研修 ・防災訓練 ほか



← 防災訓練(四十八瀬川近隣地区)

海拔表示→



← 廿日市市
四季が丘
自主防災組織へ
視察研修

■ 土木工事

- ・法定外公共物等の道路事業 計10か所



整備工事前

鍛冶畑



整備工事後

* 道路整備も少しずつ進んでいます

■ 環境づくり

- ・地域内道路、河川の美化活動
- ・環境美化運動 ・里山の環境づくり
- ・花いっぱい運動 ほか



第4回環境美化運動(花いっぱい)講習会

■ 地域個性創出

- ・地域内ふるさとイベントの支援
- ・新山口ゆめフェスタ(こども職業体験) ほか



← 薬剤師の体験

*** 今後に向けての地域の思い ***

住民ニーズや地域課題の解決に向け、市民と行政が協働で、安心安全で住みよいまちづくりを進めています。そのために、これまで以上に人と人とのつながり・支え合いを重んじ、自治会等各種団体が連携・協力できる環境整備を進めて参ります。

また地域全体が活性化するために情報共有化を図り意見調整を行い、事業効果を図るためにPDSサイクルで地域づくりを推進します。



★活動の概要

『たの SEA 秋穂づくり協議会』は、32自治会と49団体で組織し、地域振興、地域福祉、安心安全、環境づくり、地域個性創出の5つの柱で事業展開しています。

★交付金額

13,688,000 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	6,850人
世帯数	2,525 世帯
地域のキャッチフレーズ	青い海 愛する秋穂 海老のまち

※数値は、平成26年3月31日現在

■ 広報活動

情報紙、『みんなの地域情報紙あいお』の発行(月1回)と、ホームページ・ブログ・メール配信などで、地域情報の情報発信と共有化を図ります。<http://www.tanosea-aio.jp/> 今後もホームページの充実・メール配信の周知をはかっていき利用者の増員を図っていきたいと思います。

■ 地域活性化のためのイベントの支援

あいお祭りは、実行委員会を組織して11月3日に開催しました。あいにくの天気でしたが、約2000人の来客があり大変盛況でした。特に今年は、秋穂で初となる徳地人形浄瑠璃の公演や、山口南消防署秋穂出張所、レノファ山口にも参加をいただきました。来年も、秋穂の特色を活かし、また新しい風も取り入れながら秋穂の活性化を目指したいと思います。同日の夜には、大海漁港周辺で、あいお花火まつりが催され、小雨の中多くの集客がありました。3月29日の菜の花まつりは、たくさんのお客さんが訪れ、満開の菜の花の中で最後まで楽しんで頂けました。

みんなの地域情報紙 あいお

2013 第32回

※結果表※

1位	2位	3位	4位
1位 西 徳 神楽町	2位 西 徳 神楽町	3位 西 徳 神楽町	4位 西 徳 神楽町
5位 西 徳 神楽町	6位 西 徳 神楽町	7位 西 徳 神楽町	8位 西 徳 神楽町
9位 西 徳 神楽町	10位 西 徳 神楽町	11位 西 徳 神楽町	12位 西 徳 神楽町
13位 西 徳 神楽町	14位 西 徳 神楽町	15位 西 徳 神楽町	16位 西 徳 神楽町
17位 西 徳 神楽町	18位 西 徳 神楽町	19位 西 徳 神楽町	20位 西 徳 神楽町
21位 西 徳 神楽町	22位 西 徳 神楽町	23位 西 徳 神楽町	24位 西 徳 神楽町
25位 西 徳 神楽町	26位 西 徳 神楽町	27位 西 徳 神楽町	28位 西 徳 神楽町
29位 西 徳 神楽町	30位 西 徳 神楽町	31位 西 徳 神楽町	32位 西 徳 神楽町

スポーツで地域の絆を深めました。

あいお祭り



菜の花まつり



『みんなの地域情報紙あいお』は、2013年度山口県公民館報コンクールで会長賞を受賞しました。

■ スポーツ推進・行事支援

秋穂スポーツ交流フェスタ・市民体育大会・浜村杯秋穂ロードレース大会の支援を通して活力ある地域づくりをすすめます。浜村杯では、恒例の豚汁(無料)に加えて、うどん・おむすび・パン・焼き芋・エビフライやたこ焼きなどの「おもてなしブース」(有料)を設けて、選手や応援の皆さんをもてなしました。今後も、スポーツを広く浸透させ、地域の元気力の増加や活性化をはかりたいです。

浜村杯 おもてなしブース



■ 地域資源の見直し・人材育成

12月12日(木)、「秋穂国際彫刻シンポジウム研修会」を開催しました。この研修会は、1992年(平成4年)に開催された「秋穂国際彫刻シンポジウム'92」で設置された彫刻が、20年が経過した今、忘れられているのではないかとという声が、持ち上がり、当時シンポジウムのオルガナイザーを務められた彫刻家の田辺武さん(山口市在住)を講師にお迎えし、開催しました。参加された皆さんは、田辺武さんの講演を聴いた後、10ヶ所の彫刻を見学しました。協議会では、今後、この地域財産をまちづくりにどう活かしていくか、検討していくこととしています。



■ 環境づくり

植樹祭

12月8日(日)草山公園の緑化推進による森林機能の向上、山・海の調和による瀬戸内海環境保全の推進、また地域に愛される公園づくりをめざして「草山公園植樹祭」を開催しました。「NPO法人瀬戸内オリーブ基金」の助成を受けて事業実施したこの植樹祭には、130人の皆さんが参加し、桜・オリーブ・サツキ・ヒラドツツジ・アジサイなど約1200本を植樹しました。草山公園の整備をすすめることで地域内外から多くの方に訪れていただき、地域の活性化を期待しています。



芝植えイベント

6月30日(日)、秋穂地域交流センター多目的広場で、『芝植えイベント』が行われました。「緑の広場をみんなの手で」を合言葉に、300人以上の地域の皆さんが参加され、秋穂の「地域力」を発揮し、約1時間で植え終わりました。芝植えイベントを実施し、環境美化意識の向上に繋がりました。今後もグランドの緑化維持の継続支援を行います。



阿知須地域づくり協議会

★活動の概要

「地域づくり計画」に基づき各種事業、活動に取り組むとともに、新たな地域の課題やニーズに対応した取り組みにも積極的におこなっています。

★交付金額

11,386,000 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	9,416人
世帯数	3,738 世帯
地域の キャッチフレーズ	「心豊かな元気で住み よい阿知須づくり」

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 地域振興

◆ マナーアップ推進事業

- あいさつ運動、ゴミ出しマナー、交通マナー等の意識を高めるための、クリアファイルを全戸配布しました。次年度は、このマナーアップ運動が地域内に浸透するための事業を展開します。
- 駅周辺通学路に無断駐輪が多く危険個所のため駐輪禁止の看板を設置しました。



■ 地域福祉

◆ 子育て支援事業

- 思春期子育て体験
中学3年生を対象に乳幼児とその保護者とのふれあいを通し命の大切さを学びました。

◆ 安心安全見守り事業

地域とPTAが連携し、登下校時の見守を行っている“見守り隊”のベスト等を支援しました。



夏用見守り隊ベスト



自転車用パトロールシート

■ 安心安全

◆ 地域防災意識向上事業

阿知須地域では、地域における防災活動の重要性、自主防災の必要性を地域住民が意識し、単位自治会での自主防災組織の強化及び立上げ気運も高まりつつあります。



大災害避難訓練についての説明



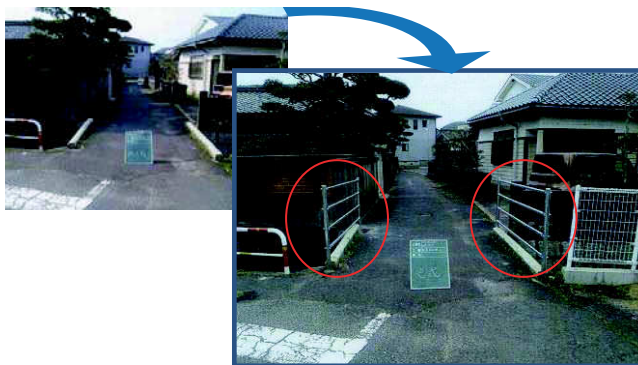
消防車による地震体験



消火訓練

◆ 通学路安心安全事業

小・中PTA並びに地域の長年の懸案事項(危険個所)として取り上げられた案件(防護柵の設置)に対し、25年度から交付金の活用が認められたことから、安心安全事業として取り組み地域の不安を解消することが出来ました。



転落防止柵を設置しました

■ 環境づくり

◆ 環境美化推進事業

● 千鳥ヶ浜海岸清掃活動支援

阿知須の自然を守り子どもたちが、阿知須の自然と親しむことが出来るよう、毎年海の日
に海岸清掃を行っています。



- 日本ジャンボリーで「おもてなしの心」をお届けするため、21自治会の協力でプランターに花を育てていただき、町並みに色を添え「花でのおもてなし」事業を実施することが出来ました。



- ゴミ集積所の美化活動(プランターでの花づくり)でごみ・資源の出し方のマナーアップに対し意識も高まり、快適なまちづくりを推進するためのきっかけづくりにもなりました。

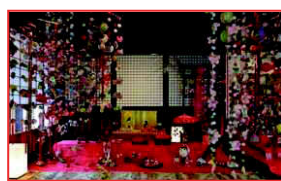


■ 地域個性創出

◆ 阿知須発信イベント支援事業

● ひなもんまつり事業

江戸時代中期～明治時代初期に廻船のまちとして栄えた、情緒ある古い町並みに、手作りのつるし飾り「ひなもん」を飾り、阿知須の元気を発信する「あじすひなもんまつり」を協賛しました。



● 阿知須ふれあいまつり支援

恒例の阿知須ふれあいまつりの企画運営を、行政主導から地域主導へと方向転換することで、地域住民の多くの参画がありました。



当日準備の様子

大勢の来場者で賑わいました



◆ 文化を守り継承発展させる支援事業

● 伝統芸能、地域文化継承事業支援

江戸時代から続いている伝統芸能「玉川地区鬨鶏踊り」を地域の子供たちに継承しています。近年中学生も地域の方の指導を受け学校文化祭や地域のイベントで披露をしています。



- 阿知須浦まつり十七夜祭踊り山車繰出し事業支援
明治から続く伝統行事「あじす十七夜祭」に支援しました。阿知須の文化を知っていただき、元気を発信することが出来ました。

